半田のNPO

古民家開放し「休憩所」

南吉ゆかり 秋まつりに合わせ

半田市の矢勝川沿いで開催中の「童話の村秋まつり」(十月四日まで)に合わせ、同市の民間非営利団体(NPO)「りんりん」が古民家を利用した「お休処 ごえん」を設けている。

民家は同市出身の童話作家・新美南吉の生家から約二百メートル西にあり、南吉作品「塀」のモデルになったとされる。空き家になっている同民家を開放し、趣ある外観や室内を見てもらおうと、今年初めて開所した。

入場料(茶菓代)四百円で、ポストカードなどのグッズ販売もある。収入の一部は、景観保存のための費用に充てる。名鉄半田口駅から徒歩約五分。

ごえんは期間限定で、営業日は二十三、二十六、二十七日、十月三、四日の午前十時～午後二時。

趣ある古民家でくつろぐ観光客＝半田市岩滑中町で